

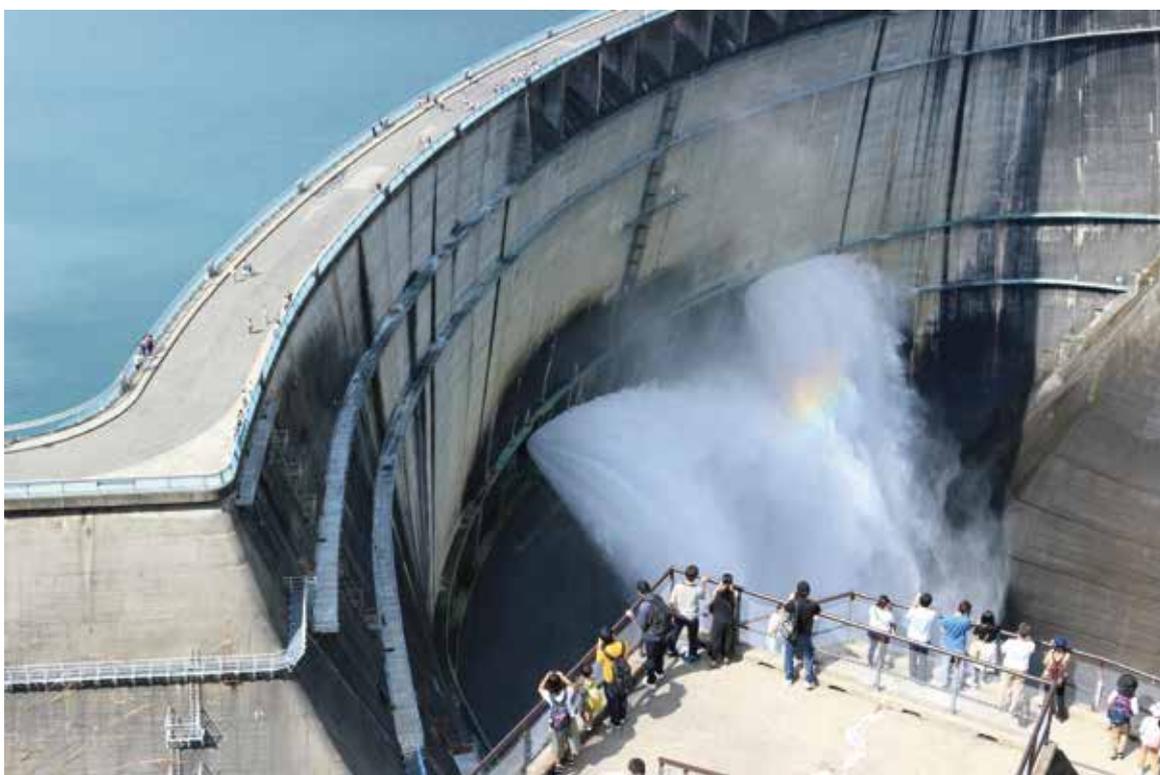
# 山口県医師会報

令和3年(2021年)

8月号

— No.1932 —

夏季特集号



緑陰隨筆

## ● 表紙の写真に寄せて

柳井 河内山 政彦

## 表紙



行かれた方も多いと思いますが、「黒部ダム・黒部川第4発電所」、通称「くろよんダム」です。関西電力により昭和31年に着工され、38年に竣工の日を迎えました。7年の歳月と、延べ1,000万人の人手、171名の尊い犠牲により完成しました。

標高1,470mにあり、ダムの高さ186mは日本一を誇り、長さは492mのなだらかな美しいアーチを描きます。今回の写真にある「観光放水」は毎秒10トン以上の水量で、6月下旬から10月中旬まで見られます。間近で見ると、やはり圧倒されます。

## 裏表紙



写真の「立山ロープウェイ」は、立山黒部アルペンルートにある6つの交通手段のうちの一つです。標高2,316mの大観峰と1,828mの黒部平を結び、標高差は500mで全長1,710mです。途中には、景観と環境保線の観点から、支柱は一本もなく、動く展望台として360度の大パノラマを楽しむことができます。小生は下りに乗ったのですが、高所恐怖症のため前の席には行けず後ろにへばり付き、ゴンドラがすれ違う時の写真を撮るのに必死でした。

# Contents

- 表紙の写真に寄せて .....柳井 河内山政彦 498

## 緑陰随筆

- 青天（資本主義）を衝（突）け .....塩見祐一 500  
 クジラの周波数 .....中村和行 502  
 Web 学会で驚いたこと .....長田正夫 504  
 私の写真が。 .....吉次興茲 505  
 俳句ギャラリー ..... ふしの句会（山口市医師会） 508  
 この時期の生活面の注意点 - 「コロナ鬱」にならないためには - .....篠原淳一 510  
 水底の詩 ~ぼくたちはここにいるよ~ .....しまふくろう 511  
 高島俊男氏の追悼記 .....森松光紀 514  
 NHK のど自慢 長門 .....齋木泰彦 517  
 「ごちそうさま」戦中戦後の飢餓時代編 .....望月一徳 520  
 俳句ギャラリー ..... 徳医句会（徳山医師会） 523  
 男女差・男女格差? .....織田哲至 524  
 写真のデジタル化 .....緒方正彦 526

- 山口大学大学院医学系研究科新任教授ごあいさつ「整形外科学講座」...坂井孝司 530  
 ■ニューフェイスコーナー「予期せぬ開業医への転身」.....荒木厚博 532  
 ■今月の視点「医師の働き方改革」.....山下哲男 534  
 ■山口県医師会 第 189 回定例代議員会 ..... 546  
     <傍聴印象記> .....川野豊一 558  
 ■山口県医師会 令和 2 年度 事業報告 ..... 560  
 ■令和 3 年度 山口県医師会表彰 ..... 578  
 ■令和 3 年度 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会 .....山下哲男 580  
 ■社保・国保審査委員連絡委員会.....清水 暢 583  
 ■令和 3 年度 山口県医師会有床診療所部会 第 1 回役員会 .....正木康史 585  
 ■令和 3 年度 全国メディカルコントロール協議会連絡会（第 1 回） .....前川恭子 588  
 ■令和 3 年度 郡市医師会看護学校（院）担当理事・  
     教務主任合同協議会.....沖中芳彦 592  
 ■山口県医師会勤務医部会 特別講演会 .....中村 洋 596  
 ■理事会報告（第 6 回、第 7 回） ..... 600  
 ■日医 FAX ニュース ..... 605  
 ■お知らせ・ご案内..... 606  
 ■編集後記..... 広報委員 610

## 青天（資本主義）を衝（突）け

下関市 塩見 祐一

今年のNHK・大河ドラマは『青天を衝け』で、主人公は来たる新壱万円札の顔・渋沢栄一だ。毎度のことながら、実際の渋沢は主役を演じる吉沢亮のカッコ良さにほど遠かったらしい。若いころからハンサム君にコンプレックスを持つ吾が身にはちょっとばかり慰めになった。歴代の主演においても、昨年の明智光秀が長谷川博己、2010年の坂本竜馬が福山雅治だったりしているもの。

彼の人生にただ一つ難点があるとすれば、歳を経るにつれ段々モテルようになり、かつまた、“英雄色を好む”の譬え通りお妾さんも増え、世の男どもがうらやむ(?)艶福家になったこと。最後に子どもを生ましめたのは80才を超えていた。今だったらセクハラあるいは上原謙(加山雄三の父)を越すマスコミ・ネタになったかもしれない。たとえ昨今の援助交際みたいにアカラサマでない貧困女性への生活扶助であってもね。それにしても奥さんの心情はいかばかりかだ。愚妻だったら絶対に許してくれないだろうし、もし僕の妹や長女の夫が他に愛人を囲ったら怒鳴り込むに違いない。

大体、孔子を始めとする中国古来の賢人たちは女の人に冷たい。その好例として「子曰はく、唯女子と小人とは養い難しとなす。之を近づくれば即ち不遜に、之を遠ざくれば即ち怨む」(陽貨第十七)がある。だから、武士の出でないものの豪農の家に生まれ、幼い時から中国古典に親しんだ彼の頭には“男尊女卑”観が染みついていたろう。が、彼は孔子の“生涯を通して学ぶ”という教えを守った。亡くなる前に日本女子大の学長を引き受けたのは、当時の女子には教育の機会均等がなかったと反省したんじゃないかな。今なら、

反対に女子大があるのは差別じゃないの?とツッコミがありそうだ。

次に副題『資本主義を突け』へ移る。ここに“資本主義”とは生産手段を所有し利潤を得ようとする資本家＝企業者の(1)金銭哲学思考並びに(2)生産活動要因を意味する。

### (1) 金銭哲学思考について

確かに渋沢栄一(1840～1931)はすごい。千にも上る会社や社会事業にかかわり、その多くが今日までゴーイング・コンサーンなんだから。その経営法はどこから来ているかを知るには自身の口述録である『論語と算盤』だ。読み終えて、昭和の“経営の神様”と言われたPHPの松下幸之助を思い出した。渋沢は“資本主義”という言葉でなく“合本主義”と言っている。そして儒教の教えによれば「金儲けを否定しているわけではなく、まっとうな生き方・正しい道を踏んで正当な富を得る」のは当然とした。しかも彼が目指したのは三菱の岩崎弥太郎と違い天下国家の公益にあった。

昨年6月14日はマックス・ウェーバー(1864～1920)の没後100年だったので半世紀ぶりに大塚久雄訳『プロテスタンティズムと資本主義の精神』(1905)を読み直した。この本については世上よく言われる「大塚の思い入れが強すぎる」のを含め、20代のころに比べ随分わかったつもりになった。要点は「禁欲のプロテスタンティズムが神の命ずるcalling(職業)～資本家は資本家としての私益～を禁欲的に邁進すべし」である。ウェーバーの頭の中も“男女平等”は認め難く、かつ、師弟関係すら寵愛的なものだった。

もっとも彼女らは後年、ロジェ・ヴァディム監督の呪縛から解き放たれたブリジッド・バルドーやジェーン・フォンダの如く、主体的人間（ウェーバーそのもの）として生きた。加えて、悔しいかな！思想上もヒトラーと共通点がありすぎたのだ。

渋沢の儒教とウェーバーの言うキリスト教は不思議に謂わんとするところが同じという指摘もある。『論語と算盤』において～キリスト教では「自分がして欲しいことを、人にもしなさい」に対し、論語では「自分がして欲しくないことは、他人にもしない」～と述べている。一方のウェーバーも彼の著述に儒教の考察がある。

## (2) 生産活動要因について

生産にはソノ需要面と供給面がある。

まずは生産における需要の観点から考えた J.M. ケインズ (1883～1946) である。後にケインズ革命と言われた著書『雇用・利子および貨幣の一般理論』(1936) において、需要としての消費と投資に重点をおき、その為には何でもする。特に第二次大戦前大恐慌に対し投資、ソレも民間 & 公共、を問わず。戦後、彼は IMF & 世界銀行総裁に就任したように理論だけでなく実践の人であった。私生活で特記すべきは、若い時分に同性愛歴があったにもかかわらず、不倫の上ロシア人バレリーナを娶（女取）ったことだ。

経済学史ではよくケインズとライバル視されるヨーゼフ・シュンペーター (1883～1950) で

ある。彼は生産者の供給を重視する。すなわち、『経済発展の理論』(1912) — 吾が同級生・八木紀一郎の訳本もあり — によれば経済において均衡は沈滞であり、企（起）業者はイノベーション（技術革新 ← neue kombination）がなければヨリ多くの利潤を獲得できないとする。実際、産業革命がなかったら、日本に渋沢栄一の出番はなかったろう。近年の IT 革命がなければあの人もこの人もタダの人に終わっているかもしれない。紀伊国屋文左衛門が実在の人物（？）であったとしても資本家にはなれなかったのだ。閑話休題。象牙の塔を離れたシュンペーターはケインズと違って実務には疎かったようだが、終生オーストリア紳士として過ごしたと言われる。

ここで、昨今話題になっている技術革新に伴う特許権開放について考えてみる。それは①トヨタのクリーンな水素エンジンと②ファイザーやモデルナの新型コロナワクチンが今後の市場でどうなるかだ。ここに、前者はいかに“脱炭素”の世界的な流れの中でもそんなに需要は見込めないの、あまり企業経営に影響しない。対する後者はそれこそジェネリックがゾロゾロ出てきてしまい世の投資家がみんな引いてしまう。よって、後二社は COVAX や友好国にドンドン供給せざるをえないのではと思われる。



## クジラの周波数

徳山 中村 和行

今年の日本の本屋大賞受賞作は『52 ヘルツのクジラたち』でした。作者の町田そのこさんが、世界で最も孤独と思われる人たちの心の交流を描いています。主人公の女性の貴瑚（あだなはキナコ）は、母の愛に翻弄されて家族から自由な人生を奪われてきたが故に、人の愛を求め、裏切られてきました。一方、母に虐待されて言葉を奪われた「ムシ」と呼ばれる少年の愛に出会い、心を通わせ、信頼しあうようになっていきます。作者は、彼らを取り巻く人たちの性同一性障害や文化的隔離の問題を織り交ぜて物語を積み上げています。人間社会におけるコミュニケーションの重要性を浮き彫りにしています。そして最後に新しい魂の始まりを予感させています。この本は、全国の本屋さん皆さんに一番読んでみてほしいと思って投票したものです。

さて、コミュニケーションのためにクジラが発する一連の音を「クジラの歌」（Wikipedia「クジラの歌」より）と呼ぶそうです。水中では光の吸収が大きいいため視界が悪く、空気中に比べると分子の拡散速度が遅いので嗅覚がうまく働きません。また、水中の音の速度は、海面上の大気中の速度のおよそ4倍ですので、クジラたちの互いのコミュニケーションは聴覚に大きく依存していると言われています。そのため、クジラの歌の周波数が異なると互いにコミュニケーションが取れないそうです。ほとんどのヒゲクジラは15～25ヘルツの音を発するそうです。シロナガスクジラは10～39ヘルツ、ナガスクジラは20ヘルツだそうです。一方、ハクジラ類のシャチなどがエコーロケーションなどに使うクリックス音は100～130キロヘルツだそうですので、ヒトには聞き

取れないそうです。非常に多様なホイッスルやクリックスやパルス音を発するシロイルカは、その声がカナリアに似ているので「海のカナリア」とも呼ばれているようですが、シロナガスクジラには聞こえていないかも知れません。広い海の中で悠々と泳ぐ巨大なシロナガスクジラは、クジラの中でも一番大きな音を発するそうです。低周波のうなるような音は180デシベルを超えていると言われています。ジャンボジェット機の騒音が100デシベル程度ですからその大きさがわかります。海中では数百キロメートル先まで届くと言われています。ウッズホール海洋研究所の海洋生物学者たちが北太平洋で12年間にわたり追跡調査した一頭のヒゲクジラが52ヘルツで歌っていたことを報告しました。このクジラは間違いなくヒゲクジラであり、新種のクジラの可能性は低いと述べていますが、他のヒゲクジラとはコミュニケーションが取れず、仲間と出会うことができないために世界で最も孤独なクジラと称されています（“Lonely whale's song remains a mystery” .New Scientist(Reed Business Information Ltd).(2004年12月11日)2009年7月12日閲覧)。ただ、従来の既知のクジラの種は、従来考えられていたよりも広い声域を持っている可能性もあります。

クジラの歌でもザトウクジラ（*Megaptera novaeangliae*）のそれは最もよく知られています。ザトウクジラは、その大きな胸鰭（属名の*Megaptera*は古代ギリシャ語の「巨大な翼」の意）も特徴ですが、背びれと背中のおもむき（琵琶を担いだ座頭に似ている）が和名の由来です。ザトウクジラは棲息地域ごとに集団を形成し、集団で行動しますが、集団間では交流がないそうです。夏は両

極の近くで主に捕食をし、冬は暖かい海域に移動して出産・繁殖・子育てをし、春には極地に向かって移動する回遊生活をしています。繁殖の時期には、オスによるメスの獲得権争い・テリトリー争いのため行動（メイティング）が激しくなります。ブリーチングもオスが自身のアピールのため行うようです。メスがオス同士を煽るようにブリーチングをすることもあるようです。その他にペックスラップ、テールスラップ、ヘッドスラップ、ペダングルスラップ、スパイホップなどの行動が活発になります。

南半球のザトウクジラは、オキアミ類を主食にします。その捕食の際には何頭ものザトウクジラが海中に潜って輪を作り、噴気孔から息を出して気泡を作りながらオキアミの群れを取り囲んで海面に押し上げ、一挙に捕食することが知られています。このような集団行動では何らかのコミュニケーションが必要となります。フィーディングコールと呼ばれる 5～10 秒程度の声を発するとされています。

ザトウクジラの「歌」は、ロジャー・ペインとスコット・マクヴェイによる解析によって 1970 年頃から盛んに研究されるようになりましたが、「動物界におけるおそらくもっと複雑な『歌』』とされています。オスのザトウクジラは、交配期に限りてこのような発音をするようですが、他のクジラが求愛などで発音するものとは全く異なるそうです。歌は一曲が数分から 30 分以上も続きますが、何度も繰り返し、20 時間もの繰り返しが報告されています。その歌は、いくつかの旋律の組み合わせからなり、一つの旋律は句の繰り返しで、一つの句はいくつかの単位を並べたものからなるそうです。これらの発音音は、20 ヘルツから 10 キロヘルツまでの周波数で変動します。その単位は、音の高さが変わったり、音量が変わったりします。また、4 個から 6 個の基本単位からなるものがサブフレーズとして 10 秒ほど続きます。2 つのサブフレーズからなるフレーズが繰り返されます。この繰り返しが集まり、「歌」となるそうです。歌は 20 分ほど続き、さらに繰り返されて何時間も続きます。また、

個々のザトウクジラの「歌」は時間とともに緩やかに変化し、同じ地域のザトウクジラは、類似した歌を歌う傾向があるそうです。クジラの歌を 19 年にわたって解析した結果では、歌が進化しても、歌の一般的なパターンは出現しますが、古いパターンがもう一度現れることはなく、同じ組み合わせは二度と再現されないそうです（Wikipedia「クジラの歌」より引用）。現在の私達人間の歌のように時代とともに変化しているのです。言語によるコミュニケーションと考えることもできます。

ところが、船舶や軍事用ソナーが発する騒音がしばしば海の自然の音をかき消してしまうことが問題になっています。軍事用のソナーは数百キロメートル先まで届きます。これにエンジンが加わって地球のすべての海洋に轟くような、空港やロックコンサート並みの騒音が生まれます。因みに米軍の低周波ソナーシステムは 215～240 デシベルだそうです。その音量はジェット戦闘機の離陸時やロケットの打ち上げの際に真横に立っているときの騒音と同レベルだそうです。また、その場から約 500 キロメートル離れていても 140 デシベル程度になるそうです。そのような、海中の騒音がクジラのコミュニケーションに影響を与えていると考えている研究者たちもいます。因みに、彼らの研究では世界中のシロナガスクジラの歌の周波数が毎年下がっているそうです。カリフォルニア州沿岸沖のシロナガスクジラの追跡調査では、クジラの音声の周波数が 1960 年代から 30% 以上も低くなっているそうです。「クジラの歌」は群れによって異なることもありますが、最近の周波数の低下はすべてに共通した現象であると報告されています。

多くの海洋哺乳類学者は、クジラの歌がクジラ類の発展と安寧にとって、とりわけ、交配や捕食などのクジラの種が生きていくためコミュニケーションに必要なものと考えています。従って海中の騒音の周波数や音量が増えるとクジラにとって棲みにくい海になります。温暖化の問題もさることながら、地球上の野生生物と人間とのかかわりかたを考え直す必要がありそうです。

## Web学会で驚いたこと

徳山 長田 正夫

COVID-19の蔓延のため、昨年からは県境をまたいでの移動の自粛、リモートワークの推奨と言う事態となった。

そのために、学会開催が軒並みWebで配信されることになった。これは私たち開業医にとってはとてもありがたい。学会参加したいと考えても、開業医はなかなか自院を休診にしにくいからだ。学会のために休診するという案内を早くから出していても、それを覚えていないのか患者さんは来院する。患者さんのためには、学会参加とは言えども休診はなるべく避けたい。

学会開催がWebとなると、会場に行かなくても自宅で学会の講演が視聴できるので休診する必要はなくなる。ライブだと視聴の時間が限られるが、ほとんどの学会はオンデマンドでも配信されるので、期間内であれば自院を休まなくても希望の学会をいくらかでも視聴できるということになる。オンデマンドなら、プレゼンテーション画面をストップできるし、必要なら戻って視聴することもでき、Web学会開催期間内なら視聴回数の制限はないので、とても有用である。

昨年はよく考えずに3つの学会に申し込んだら、それらが同時進行となり、Webでの学会サーフィン？をする羽目になり、毎日のようにパソコンに釘付けになると言うことになった。それでも、本や雑誌では気がつかなかった知識を得ることが出来たのは大きな収穫であった。

ところで今年4月には日本眼科学会総会もWeb開催となった。それを視聴していたらびっくりしたことがあった。

緑内障に関する講演だったが、そのプレゼンテーションの画面で、引用されている文献の中に父の名前の発見したのである。1954年という発

表年代から考え、父の仕事に間違いないと確信した。オンデマンドの講演のありがたさで、画面をストップさせてしばらく見入った。父が存命だったらとても喜んだだろう。

さて、大学に近ければその雑誌について大学図書館で調べることができるが、徳山ではすぐには調べることができない。そこで弟に発表年代と雑誌の名前をメールで送ったら、弟もそのことをとても喜んでくれて、探してみるとの返事が来た。

ほどなくして弟からその論文のコピーが送られてきた。その原著は旧字体の漢字で、言い回しも文学調というか回りくどい感じであったが、おそらくその時代の学術論文はそのようなものだったのである。面白く読んだが、父の存命中に父の研究については、ほとんど何も聞いてなかったのが悔やまれた。

父は学会にはよく参加していたが、それを診療に生かすことは少なく旧式の診療を行っていたようだ。むしろ父の興味は地域の歴史などに向いていて、ことに児玉源太郎に関するものはかなり評価を受けていて、作家の故、古川薫からも問い合わせがあったとのことである。

そんな文学肌？の父を見ていた私たち家族は、父が眼科の研究発表をしていたこと、それが未だに研究者の引用文献になっていることを、とてもうれしく思った。Web学会で遭遇したこのことは、私にとってCOVID-19蔓延の副効用とも言えるかもと内心思っている。

これからCOVID-19が収束するとWeb学会は縮小されていくのだろうか。私としてはこのままのWeb学会の流れが続いてくれるように願うばかりである。

## 私の写真が。

徳山 吉次 興茲

私の写真が高校入試の問題に使用された。

ある日突然の電話。

「私は兵庫県立田上高校（仮名）の田中（仮名）といいます。吉次さんの携帯でよろしいでしょうか」

「はい、そうです」

「実は吉次さんの写真を当校の入試問題に使わせていただきました」

「えっ、私の写真ですか、どんな写真ですか」

「平和写真集です。図書館にあった平和をテーマにした写真集の中に吉次さんの『語らい』があり、良い題材だとおもいまして・・・」

出版元に電話が繋がらなかつたから直接私に電話したという。

兵庫県と大阪府との境にあるその高校は普通科に「教育コミュニケーション類型」という部門があり一般入試とは別に推薦入試を行っていて、その問題の小論文の題材用に使われたということだ。それが添付の『写真』である。入試の厳正を期すために事後報告となったことを丁寧に詫言われた。

この写真集は中国 5 県の写真に携わる人たちプロ・アマを問わず総勢約 150 名が参加して、平和をテーマにした思い思いの作品を出し合って作成した写真集である。中には海外まで出かけて写したのものもある。製作に携わった二科会写真部門の会友である友人から誘われて私も出品した。

宮島の厳島神社・原爆ドーム・いろいろな祈りの場面・回天基地・灯籠流し・御田祭などの各地の祭り・親子の笑顔・子供同士の何気ない会話シーン・動物たちとの触れ合いなど平和を象徴する優れたベテランの作品が 150 余枚も載っている。それぞれの平和に対する想いである。そ

んななかで他愛もない日常のひとコマを切り取った目立たないこのスナップ写真がなぜ選ばれたんだろう。

出題問題を見て分かった、作品の良し悪しではなく写真のテーマが質問の題材に合っていたのだ。質問の概要は（出題の大意は汲んで文面は少し変えてある）

問題（1）この写真の内容を写真を見ていない人に説明して情景を伝えなさい。

問題（2）「語らい」について自分の思いを書きなさい。

その他の問題など

今の高校入試問題は大きく変わったのか。60 年以上前の私の高校入試問題など覚えてはいたが、記憶力に頼った質問ばかりだったと想像する。この質問には受験者の発想力・想像力・表現力・応用力、ひいてはその人の人間性まで見えてくるかもしれない。

しかし「教育コミュニケーション」とは何であろうか、こんな科ってどんな勉強をするのだろうか。

気になってネットで調べてみた。兵庫教育大学に「教育コミュニケーション科」があり、そのホームページ関連に以下の説明があった。

学校教育は、子ども・教師・保護者・社会の関係とコミュニケーションのなかで成立するものです。それゆえ、学校教育の本質的課題に取り組む際には、関係とコミュニケーションという観点からのアプローチが不可欠です。本コースでは、教育のコミュニケーションを成り立たせている諸要因について、哲学的・歴史的・社会的・心理学的な観点から多元的・総合的な教育研究を行い

まず、そのことを通して、従来の教育観や教育システムを問い直し、よりよい教育コミュニケーションのモデルを探求します。またその探求のプロセスで対話を通して協同的に問題解決に取り組むためのスキルを育成します（原文のまま）。

私は形成外科を専門としたがこの科は機能障害の改善に加えて外見上の醜状に対しての治療も行う。そこには狭義の医学的治癒に患者さんの気持ちや価値観が大きく加わり『心身ともに改善』が求められる。そこで自然と患者さんの心理について関心を持ち、人がありのままの今の自分の容姿を受け入れるには、そのような働きかけをすればいいのか、臨床心理学を齧るきっかけとなった。

『吉次さん、患者さんが今の自分の容姿でいい、と受け入れたら治療する人が居なくなるなあ』

勉強会に参加したいと言った時の指導者の冗談交じりの言葉だが、今でもそれを思い出す。相手の気持ちと共感する方法、相手が嫌だと思うこと

についてこちらの希望を聞いてもらう接し方。テキストの原書は『マイクロカウンセリング』アメリカ製 How to ～ だった。取り掛かりは方法論でもいいが、これだけでは患者さんの心には届かない、そう気づいたのはずいぶん後だった。日本人は外国人に比べて他人とコミュニケーションをとることが苦手と言われている。この高校のように高校生の時からコミュニケーションとは何か、人間関係を築くにはどうしたらいいのか、誤解のないように自分の気持ち伝える勉強ができる。世界で羽ばたく人間性を培うことができるのだろう。

今更ながら世の中の移り変わりに驚き、人間関係で躓く私は自分もこんな高校に入りたかったなあ。

独酌しながら思いにふけた。





## 『語らい』

江戸時代から続いているといわれる鯉のぼり、  
途絶えることなく皁月の青空に舞っています。  
その下で屈託なく語らう女性二人。  
いつまでも続いて欲しい情景です。  
地球の裏側では今もお激しい宗教戦争が現実です。



吉次 興茲  
山口県周南市西千代田町 1-5

## 俳句ギャラリー

ふしの句会（山口市医師会）

行き行きて重源の里若葉満ち  
和箆笥の奥から父母の紺浴衣  
白足袋で道ゆくをみな夏祭

杉山元治

短夜の四時廿十五ー六分前  
忍耐を思ひ出しけり虹の空  
もう駄目と嘆く退屈月見草

末兼浩史

青空をすいと切りとる燕かな  
一人居の母の強がり木瓜の花  
白南風やポニーテールの駆け抜ける

佐々木映子

喉越しのビールに憂さも泡と消へ  
水遣りの手首目がけて藪蚊くる  
追善の謡の声も梅雨じめり

坂本強

## 俳句ギャラリー

ふしの句会（山口市医師会）

気負ひなく蒼く光るや今年竹  
外郎の柔き彩り若葉雨  
アマリリス何処から話しかけようか

今村孝子

まるまると巢から溢れん燕の子  
戸惑ひの渦に溺れて蛾は焰  
縄張りには歌合戦で雨蛙

淵上泰敬

溪流の飛沫は高し夏は来ぬ  
車窓より千の植田の地平線  
七色の傘すれ違ふ五月雨

成重隆博

## この時期の生活面の注意点 —「コロナ鬱」にならないためには—

徳山 篠原 淳一

近年「三密を避ける、ソーシャルディスタンスをとる、外出自粛する、休業要請云々・・・」などの各種の自粛要請が出ています。

その結果、私たちのこれまでのライフスタイルが徐々に変化してきている印象です。これは生活の「巣ごもり化」ともいえます。

厚生労働省は「眠れない、不安でたまらない、ストレスがたまる」などこの時期の精神面での不調を「コロナ鬱」と名付け昨年全国調査を始めました。

心療内科や精神科には「適応障害」という診断基準があります。

これは、ストレス（ストレスを惹起させる刺激）の影響を受け自律神経系の乱れにより生じる「心と体の反応」を指しますが、「コロナ鬱」は恐らくはこのタイプだと考えられます。

では、その解消法は・・・。

### A. 問題解決型アプローチ

様々な情報がいつも飛び交っていますが、情報にあまり振り回されず距離を置いて生活する。

### B. 情動焦点型アプローチ

自分の感情を親しい誰かに話すことで発散させる。

### C. 気晴らし型

趣味、外出、運動など様々な活動でストレスを発散させる。

実際のこころのケアとして、

- 1) 頑張るときとリラックスする時を分ける。休日などゆったりとして心と体を休める。
- 2) 食事と睡眠はしっかりとしてリズムを作る。
- 3) この時期は家族や友人など親しい人との付き合いは大きなライフラインです。お互いにメールや電話などのやり取りで安心感を得る。など

以上、簡単ですが先生方のご参考になれば幸いです（厚生労働省のホームページを参考にしました）。



## 水底の詩 ～ぼくたちはここにいるよ～

山口大学 しまふくろう

昨年の夏は戦後 75 年目の記念すべき節目の夏であった。夏が近づくと、またぞろ少年の頃の出来事が思い出される。忘れてしまいたいのだが、その思いとは逆に記憶は強くよみがえってくる。困ったものだ。

沖縄本島の北部、東シナ海に突き出た本部半島<sup>もとぶ</sup>北側にある今帰仁村<sup>な きじんそん</sup>の、北東端にある運天港は緑深く、波静かな天然の良港である。いにしえよりよく知られ、戦いに敗れた源為朝が伊豆大島から逃れてくる途中に嵐に会い、“運を天にまかせる”として流れ着いたために、その地名がついたとの伝説があり、かれの手形がある洞窟（ティラガマ：かれが一時住んでいたらしい）がぼくたちの遊び場のひとつであった。

その運天港の沖合に、周囲 8 km ほどの丸い小さな島がある。今帰仁村の古宇<sup>こいう</sup>利島<sup>りじま</sup>である。現在は橋がかけられ車で自由に往来できるが、ぼくが少年の頃はまだ米軍払い下げの舟艇が唯一の交通手段であった。ぼくも橋がかけられるまでは行ったことがなかった。

・・・再び水底から魂の泣き声が聞こえてきた・・・

2000 年夏。地元の漁師が海上に油が漂っているのを発見し、海上保安庁に報告した。遠隔操作カメラで沈没船であることがわかり、翌年ダイバー探査によっ

て米掃海駆逐艦 エモンズ (USS *Emmons* : 全長約 106m、全幅 11m、総排水量 1,630 トン、最高速度 70km/h) であることが判明した。この軍艦の重油が現在も流れ出ているのである。

2020 年 11 月 NHKBS1 国際報道 2020「SPOT LIGHT」で放映された特集番組が、偶然ぼくの目を引いた。その古宇利島沖合に、旧日本軍の特攻攻撃で撃沈された米軍艦が沈没しており、その調査を九州大学の研究チームが行なっているとのことである。水深 45m に横たわっているのは USS エモンズで、調査チームのリーダー 菅 浩伸 教授によると、「太平洋戦争で唯一日本軍の特攻機が突っ込んでいったということを残している遺跡で、そういう意味でここしかない非常に貴重な遺跡だと思う」とのことである。



海底に眠るエモンズ (イラスト：司馬さやか)

機雷除去の目的で送り込まれたエモンズは、昭和20年4月6日、5機の特攻機の攻撃を受け64人の乗組員が犠牲になった。生存乗組員の一人トニー・エスポジトさん(97)によると、艦橋で任務についていた時突然攻撃され、「攻撃機は頭上3mのところを通り過ぎていった。機銃掃射をしなかったから生き延びられた。とても怖かった。」とのインタビュー証言をしている。



飛び立つ特攻機(イラスト:司馬さやか)

九州大学の研究チームによる3D画像解析によると、特攻機の1機は右舷側の船尾に突っ込んだようだ。また、同時に複数の特攻機が艦橋部をそれぞれの階を狙って攻撃を加えたことも判明している。さらに、大砲の角度から、特攻機は水面スレスレを飛行してきたことも判明した。これらは搭乗員の高い操縦技術を意味している。

攻撃した部隊も分かってきた。「エモンズ」のわずか16mのところ沈んでいた特攻機のエンジン調査から、特攻機は陸軍の「九八式直協偵察機」のものであることが判明した。この飛行機は陸軍で主に偵察の任務に当たっていたものである。当時の記録から、この日特攻したのは、陸軍「誠36・37・38隊」である。このエンジンは、4月6日宮崎県新田原飛行場から飛び立った未帰還26機のうちの1機のものである。36人で構成されたこの部隊員には、陸軍飛行学校の元教官たちも含まれていた。誠37隊隊長小林敏男少尉(23)の、揺れ動く心情を書き記した日記も見つかっている。

この悲劇は、<sup>けらま</sup>慶良間諸島に集結した米駆逐艦隊を攻撃目標に、宮古島を出撃した7機の特攻赤トンボ～布張りの小型複葉練習機で250キロ爆弾を装着～が散華した小説を書かれた、山口大学卒業の古川 薫著「君死に給ふことなけれ 神風特攻龍虎隊」を彷彿とさせる。

それにしても、戦闘機と比べ明らかに性能の劣る偵察機や練習機が特攻に使われていたことに、旧日本軍の置かれた追いつめられた状況が読み取れる。

いずれの話も、米軍艦を撃沈した特攻隊員の決死の攻撃による武勲には違いないが、「エモンズ」でも、やはり親・兄弟姉妹や帰りを待つ恋人もいたであろう64人の乗組員が犠牲になっていることを忘れてはならない。

ぼくがこの国を誇りに思うことは、少子高齢化や広がる社会的格差、長引くコロナ禍や拉致問題、隣国との領有権問題、それに加え、いやという程繰り返される地震や津波などの自然災害、いろいろ難問が発生している中で、昭和20年8月の終戦以来、問題解決のために「戦争」という手段に訴えてこなかった、ということである。このことは多くの戦没者や特攻隊士が散り際にみた、彼らがついに観ることを得なかった、愛する人々との平和な生活を希求する祈りを、国民が広く受け入れているからにはほかならない。

甘いだろうか？

## 参考資料：

1. 国際報道 2020「特攻・元米兵が語る“知られざる作戦”とは」

2020 年 11 月 27 日 NHKBS 1

2. Kan H et al.: Assessment and significance of a World War II battle site: recording the USS Emmons using a high-resolution DEM combining multibeam bathymetry and SfM photogrammetry. International J. of Nautical Archaeology 47 (2): 267-280, 2018.

3. 君死に給ふことなかれ 神風特攻龍虎隊

古川 薫 2015 年 7 月 幻冬舎

4. 知覧特別攻撃隊 村永 薫 編

1989 年 4 月 ジャプランブックス  
(誠 36・37・38 隊を含む全特攻隊戦没者の名簿あり)

5. 陸軍特攻・振武寮 生還者の収容施設

林えいだい 2007 年 3 月 東方出版

6. 学徒兵 許されざる帰還

～陸軍特攻隊の悲劇～

2007 年 10 月 NHK スペシャル



今帰仁村上空を帰省時の ANA 機から撮影 (2017 年 8 月) : 彼らがみた突入前の景色である

## 高島俊男氏の追悼記

徳山 森松 光紀

高島俊男氏が本年4月5日に逝去されたことを新聞で読みました。享年84歳、一文化人として社会面1段の扱いでした。同氏は市井の中国文学研究者である一方で、エッセイストとして知られていました。生涯独身を通し、好きな土地に移り住みながら、文章を書いて過ごしたようです。私は隠れた1ファンの立場から追悼文を書かせていただきます。

私は同氏を熟知している訳ではありません。しかし、作品から判断すると、中国の歴史書、文学、漢字に精通しており、漢文を原語で読みこなし、中国語で会話できるように見受けられました。『中国の大盗賊一天下を狙った男たち』（講談社現代新書、1989年）や『水滸伝の世界』（ちくま文庫、2001年）を読みましたが、内容が細部に亘るとついて行けず完読できませんでした。一方、週刊文春の1995年5月～2006年8月に掲載され

たエッセイ「お言葉ですが・・・」は興味深い内容であり、私はこれだけのために週刊文春を購読したものでした。文章の趣旨は「言葉の語源や、本来の正しい使い方を探る」ことにあったようですが、その深い造詣に基づいて緻密な分析が見られました。ただし、その分野の権威と言われる人たちに対しても、誤りと思われるところは容赦なくやっつけ、読者に快感を与えました。このエッセイには熱烈な読者が現れ、作者に質問を送るだけでなく、作者の投げかけた質問に対して精査して答え、作者がそれに応答する形になりました。このため編を重ねて佳境に入っていた2006年突然掲載中止になりました。因みに、エッセイ集『お言葉ですが・・・』は文春文庫として1999年～2006年に10巻まで刊行されています（写真）。

さて、この連載中止のいきさつは週刊文春では明らかにされませんでした。作者の都合でない



著書の一部

ことは明らかでした。後に記載しますが、作者の文章が出版社または、その背後の勢力を怒らせたことは想像に難くありません。従って、「お言葉ですが・・・」の最終部分は文春文庫として出版されませんでした。のちにこれは連合出版から『お言葉ですが・・・』第 11 巻（2006 年）として出版され、続いて同社から『お言葉ですが・・・』〈別巻 1〉（2008 年）～『お言葉ですが・・・』〈別巻 7〉（2017 年）として出版されています。第 11 巻の「あとがき」のなかで作者は、「書くことはいくらでもあるし、当然まだまだつづくもの、と筆者勝手に楽観していたら、突然中止の通告を受けた。『読者のみなさまがお手紙をくださっているあいだは大丈夫、やめさせられることはない』と言いいし、実際そう思っていた。その読者来信はとぎれることなく来ていたのだが・・・。『なんでやめさせられたのだろうか？』と以後考えつづけている」と無念さを書き記しています。もとより作者にはその理由は分かっていたでしょうが、それについては触れていません。

連載中止の理由については、その直前に展開された文章の内容を見ると見当がつかます。まず、発端はキリスト教について「ゴッドの訳はいくつある？」という至極真っ当な話題でした。中国でキリスト教が布教されたときに聖書で God をどのように翻訳したかが考察されました。実際には中国の宗派により「神」「上帝」「天主」が用いられたとのことですが、聖書の日本語訳にあたりこれらのうちの「神」（中国語でシェン）を採用し、日本語読みとして「カミ」となりました。ここで日本は多神教の国であり、唯一神のキリスト教とは大いに矛盾しますが、これは問題にされませんでした。次に、聖書の revelation の訳として正確には「啓示（録）」が正しいところを、なぜか日本では「黙示録」とされました。これについて revelation には「黙って示すという意味はない」、つまり誤訳というのが作者の意見です。続いて聖書の prophet（予言者）に対する中国語訳では「豫言者」「預言者」（予言は日本語の略字体）の語が用いられました。豫、預、予はすべて「前もって」の意味であり、日本語の「あずかる」という意味は中国語にはないそうです。しかし、日本の聖書

では prophet に対して「予言者」ではなく「預言者」（＝神の言葉を預かり、他の人に伝えるもの）と記載しました。作者によればこの解釈は明らかに誤りですが、広辞苑さえも 1991 年第 4 版から「預言者＝神の言葉を預かる人」と記載しています。作者は「広辞苑は第四版から突如態度を変えたのではなく、従来ずっとアヤシゲであったのが、いわば最後の一線をこえたのである」と酷評しています。さらに「つらつらおもんみるに、現今の日本のキリスト教周辺には、どうも一流の人物が見あたらずな」とキリスト教批判に及んでいます。作者の預言者誤訳説は週刊文春で 5 週間にわたって展開されましたが、その直後に突然掲載中止になりました。その背後にどのような権力介入がなされたかは不明です。

さて、話は変わって、私は多数の認知症患者を拝見していますが、2004 年までは「日本痴呆学会」など、痴呆が共通語でした。しかし、痴呆は患者の人格を貶める語として排除されました。この「痴呆」に代わる用語として作者が「認知症」開発に関係したいきさつが書かれていますので引用します。作者によれば「痴呆」が一般用語として作品に出現するのは大正時代だそうです。最初は有島武郎著『或る女』で「痴呆のようにしてしまいたい」（痴呆＝腑抜け）、また寺田寅彦著『丸善と三越』で「贖罪の為に種々の痴呆を敢行して」（痴呆＝愚行）と意味が定まっていなかったそうです。しかし、昭和になると廣辭林（昭和 9 年）に「ちほう（癡呆）＝あほう、ばか」の如く定義されるようになりました。この頃、英語 dementia の訳語として「痴呆」が医学用語として確立したそうです。2004 年夏、この名称（痴呆）を変えようと厚生労働省老健局が検討会を設け、作者も呼ばれました。「老健局の立場を考えると『委員会というからには、医師会長とか看護会長とか、各方面を代表する人たちが集められる。もとよりみな、ボケ老人を見るがわの人たちである。しかし一人くらいは、面倒を見られるがわも入れといたほうがいいんじゃないか。そういう意見が出た』ために自分が招かれたのだろう」と推測しています。この目的で第 1 回の会議がありましたが、この時はビデオを含む各種の資料が提示

されて大変面白かったそうです。(以上、『お言葉ですが・・・』第9巻)。

この続きが『お言葉ですが・・・』第10巻に記載されています。因みに「検討会メンバーは7人、うち医学・看護方面とおぼしきかたが4人、法律方面1人、新聞社方面1人、それに、なんでもないので1人(小生)という構成」でした。検討会は4回あり、第2回の会合では新用語の候補が挙げられました。『認知』という言葉がひんぱんに出て来て、さすがにうとい小生も、これはどっちにしてもこの語がつくことになるんだな、と見当がついた」とあります。「そこで候補をならべる段になって、最初は『認知障害』が第一、ついで『認知症』という順であったようだが、おしまいごろになってこれが逆になった。どうやら『認知症』になるらしい、と小生にもわかった」そうです。第3回の会議は体調不良で作者は欠席。後日、議事録が送られてきて「認知症」に決まったとのことでした。第4回の委員会は「担当者がこれまでの検討会の報告を読みあげ始め、読みおわると全員承認しておしまい。30分ほどであった」とあります。私の経験でも中央官庁の審議会はすべてこのスタイル(役人が予め決めたものを審議会が承認する)ですが、作者としては珍しい経験だったようです。「——というわけで、『痴呆』は今後『認知症』ということになります」と括られています。

最後に、高島氏の持論として「日本語は不完全な国語のために日本人は大変な不自由を被ってきた」という見解があります。これは興味深い指摘なので触れておきます。かつて日本には日本語(会話語)はあったが文字はなかった。そこへ千数百年前に中国から漢字が入ってきた。このため筆記語として漢字を使い始めたのが悲劇の始まりであるというのが作者の考えです。漢字が入ったころ日本語には具体的な事象を示す語はあったが、抽象的な概念を示す語はなかった。しかし、漢語では既に理、義、恩、智、学、礼など抽象語が十分発達していたために日本語はこれらを取り入れた。また、もともとの日本語に対して適当に漢字を当てはめて使用した。その結果、日本語の「とる」に「取る」「採る」「捕る」「執る」「摂る」「撮る」

などの漢字を当て、現在ではそれぞれどう異なるか議論しているが、日本語の「とる」において違いはないので漢字の区別は全く無意味である。従って、自分はすべて「とる」と書くというのが作者の主張です。また、おびただしい同音異義語が作られることになった。国語辞書で「せんこう」と引くと、「穿孔」「専攻」「専攻」「戦功」「浅紅」「鮮紅」「繊巧」「先考」「先行」「潜行」など18個も出てくる。漢語ではこれらは読みとアクセントで耳から聞いて区別できる(これが言語というものである)。ところが、日本語では全く同じ発音になるので、日本人は「言葉のうらに張り付いた」漢字を直ちに頭に思い浮かべて理解するという「曲芸」を行っている。この手法は他民族にはない日本独特の文化であり、未成熟な言語体系と言わざるをえない。明治以来、こうした不便に対応するために日本語を廃棄して英語、フランス語などに取り換えるなどの極論もあったが、幸い実施されなかった。いずれにしろ、日本の長い文化を継承するためには「これまで通り畸形のまま生きてゆくより方法はない」というのが作者の結論です(以上、『漢字と日本人』文春新書、2001年)。これを読んで私は「眼からウロコ」の感銘を得ました。いかがでしょうか。

齢を取るということは、家族、知人ばかりでなく慣れ親しんだ知識人ともお別れすることになり、「逝く者は斯くの如きか昼夜を舍かず」(論語)と感ずる今日この頃です。

## NHK のど自慢 長門

長門市 齋木 泰彦

昨秋、NHK のど自慢がここ長門市のルネッサながとで令和 3 年 2 月 21 日に開催されることが発表された。長門市市制施行 15 周年、ルネッサながと開館 20 周年を記念した大会であった。

家族に隠れてこっそりとインターネットで応募していたことを、郵便受けに届いた予選会通過の葉書を見て思い出した。そこから予選会までわずか 1 か月間。

選曲は、9 歳の息子から、みんなが元気になる曲だと教えられた、嵐の「カイト」。東京オリンピックの応援ソングに選ばれ、紅白でも披露された名曲だ。ただ、これまで一度もカラオケで挑戦したことがなかった。試しに動画サイトで彼らの歌声に合わせて練習してみた。たった一人で彼らが織りなす珠玉のハーモニーを表現できる訳はなく、一度選んだ曲は変えることが出来ないルールの中、不安が募るばかりとなったが、ある女性の動画サイトに目が止まった。優しい声で、曲の中

で少しずつアレンジしながら、軽やかに歌い上げている。そこから、彼女を師匠として、一日 2 時間の猛特訓が始まった。

予選会では、歌のうまさはもちろん、その人物のキャラクターが重要視される。なので、ステージ映えも考え、衣装を検討することが求められた。普段は紺色のゴルフウェアを仕事着にしているが、地味な印象は拭えない。インターネットサイトで、ジャニーズ事務所のタレントが羽織っているようなクリーム色の革ジャンを見つけた。こちらは、3,000 円とお手頃価格であったが、実際に届いて試着してみると、意外にも肌触りがよく、見栄えもいい。これなら戦えるかもと思わせる一品だった。

予選会当日。大事に保管していた葉書がまさかの行方不明に。神様が「遊んでいる場合じゃないぞ」とでも言っているのかと諦めの気持ちで診察に没頭していたが、妻からファイルの間から見



つかったとのメールが届き、無事に午後からの予選会に参加することが可能となった。午前の診察を終え、クリーム色の革ジャンに袖を通し、颯爽と出陣。待合室で馴染みの患者さんが一言「先生、カッコイイ」。お世辞でも嬉しく、何だか背中を大きく押してもらえている気持ちになった。

さあ、車で5分のルネッサながとに到着。周りを見わたせば、個性がキラリと光るベテランやイケメンばかり、一重のオジサンがどこまで戦えるのか。会場の中から響いてくるのは、自分より百倍うまい猛者たちの歌声。「もう楽しむしかないな」。腹を決め、いざ会場の中へ。ステージは本番同様にセッティングされ、それぞれの参加者に合わせてカラオケが用意されている。約40秒の歌や踊りを披露し、その後、担当ディレクターと小田切アナウンサーとの簡単な質疑応答をする。

予選会の参加者は150組、勝ち残った18組が本選へと進める。よく、NHKのど自慢で本選へと駒を進めるには、4つの条件があると言われている。1つ目は文句なしに歌がうまいこと、2つ目は出場歌手の歌を選ぶこと、3つ目はキャラクターが際立っていること、4つ目は地元枠。

会場の雰囲気ですでに圧倒されていた自分の狙いは、4つ目の地元枠に絞られていた。ステージに立ち、イントロが流れ始める。心配だった歌い出しは意外にもスムーズに入り、途中で多少囁んだが、それをご愛嬌と考え、何とか無事に歌い切った。小田切アナウンサーとのやりとりでは、持てるアピール力で地元枠を強く意識したトークを繰り広げた。翌日に生放送で行われる本選への通過の合否結果は、夕方5時半過ぎに合格者のみ直接電話がかかるとのことで、会場を後にした。

午後5時半、囁んだこともあり合格は難しいだろうと思っていたが、やはり電話は気になり、炬燵の中で身を丸めながら、スマートフォンとにらめっこしていた。午後5時45分、「プルプル」。見知らぬ番号からの通知が入った。「NHK



のディレクターです。嬉しいお知らせです」。思いもよらない合格通知に、家族全員で踊りながら喜んだ。

そこからは忙しかった。まず、知り合い各所に出場のご連絡。NHKディレクターとのやりとり。深夜10時には生演奏のバンドリーダーから電話がかかり、電話口の向こうで奏でられるピアノの音色に合わせ、歌を歌い、キーを合わせる作業。素人が歌う、たった1曲にも、時間も労力も惜しみなくかける番組スタッフのプロフェッショナルな姿勢に感動し、そこに参加できる喜びを感じた。

本選当日。生放送開始は12時15分だが、集合時間は早朝7時半だった。その場で出場者の順番が発表された。クリーム色の革ジャンが「トリ」を務めることが告げられた。急に責任感が大きくなった。また、そこには本選出場を決めた仲間たちがいた。一番に目を引いたのは、相撲部所属のまわし姿の高校生だった。さすがに彼の圧倒的なインパクトのある衣装には勝てないなど思った。

本番までは、生バンドとの練習だけでなく、歌い方や演出のアドバイスも受け、オープニング、エンディングのリハーサルも含めて、たっぷり時間をかけて、郷土愛に満ち溢れた出場者と番組スタッフとが一体感を持って、一つの番組を丁寧に取り上げていった。ゲストの八代亜紀さん、吉幾三さんも念入りに練習を繰り返され、サー

ビスで代表曲も歌っていただいた。また、会場は、感染症対策として、観覧客は 150 人以下に制限、スタッフによる定期的な消毒や換気、3 密の回避、マスク着用などの対策が徹底されていた。

いよいよ本番。「カンコンカーン、タラタタタターン」会場一杯におなじみの鐘の音が響きわたり、華々しく始まった。トップバッターは青いドレスが目眩しい中学 2 年生の女の子の「青い珊瑚礁」。彼女の弾けるような声と笑顔で会場のボルテージが一気に上がった。まわし姿の相撲少年は、信じられないくらいのギャップのある透き通った声で「ひまわりの約束」を歌いあげ、見事に合格した。なんと、彼が今年初めての合格者となった。飲料水メーカーに勤務する二人組が歌った「オンリー・ユー」。予想外の歌い出しのズッコケと吉 幾三さんとのやりとりの面白さが、会場を笑いの渦に変えた。

思いっきり楽しみたい気持ちと緊張の中で、遂に革ジャンの順番が近づいてきた。一瞬、歌詞が頭からすっかり消えたが、「上手く歌えたら、グランドチャンピオン大会だな」との小さな野望も抱えて、いざ、ステージへ。

「小さな頃に見た～」これがカイトの歌い出しだ。そういえば、僕は昔からチェッカーズのギザギザハートの子守唄が大好きだった。そんな自分の口から出たのが、「ちっちゃな頃から～」。無意識って怖い。逆に歌い出しを大きく間違えたことで、さっきまでの緊張が消え、気持ちよく、全国ののど自慢ファンへ向けて、歌に自分の思いをのせて届けることができた。鐘は 2 つ頂き、大満足の結果となった。本選出場記念としてブロンズのトロフィーも頂いた。

18 組が歌い終え、チャンピオンは将来医師を目指す防府の高校生が歌った「遙か」。特別賞は「オンリー・ユー」の二人組が予想通り獲得した。

「薄い一日におさらばして、ぶ厚い一日へ。」

予選会の数日前に元気がなかった大学時代の友人への励ましとして発した自分の言葉が、そのまま自分に巨大なブーメランで返ってきた。大きく変わらない日常の中で、非日常の貴重な経験をさせてもらえた 2 日間となった。また、「元気をもらえた」と患者さんたちが喜んでくれたこと、小さな頃から歌の楽しさを教えてくれた母親をのど自慢の会場に招待できたことが一番の成果となった。

今度はタータンチェックの衣装を着て、チェッカーズの歌で挑戦するかな（笑）



## 「ごちそうさま」戦中戦後の飢餓時代編

徳山 望月 一徳

「腹が空いた時には、ソースはいらない」と言いますが、食べる時の腹具合で、食べ物は旨いかまずいかが決まります。

さらに言えば、旨いものとは誰が食べてもいつ食べても旨いというものはなく、その時代の食の環境と食べる人の空腹加減によります。

この雑文は、いわゆるグルメを誇るものではありません。昭和時代から今日に至るまでを戦中戦後の飢餓時代とその後の昭和元禄から平成・令和の飽食時代の2つに分けて、その時々々に旨いと思っただけの食べ物を列記してみます。

今回、登場する食べ物は、①色とりどりの飴玉②きな粉うどん③鮎の甘露煮④銀めし⑤さつま汁⑥青海苔の巻きずし⑦ご飯が2段重ねのドカ弁⑧ネギだけのうどん⑨とんこつスープの中華そば⑩鍋焼きうどん⑪スコッチエッグ⑫焼きリンゴ⑬小判型のハンバーグなどです。

だから、これは個人の意見であって普遍的なものではありませんので、前もってお断りしておきます。



## 戦中戦後の飢餓時代編

私は、昭和13年生で戦中戦後の食べ物の乏しい時代を過ごしました。

この時代は、食品全体が欠乏し（あるところにはあった）特に砂糖は、ほとんど手に入りません。だから、当時の欠食児童（子供のことをこう呼んだ）は、甘いものにはほとんど飢餓状態でした。母親は、僅かに手に入れた貴重な砂糖を子どもの嗅覚から逃れるために、砂糖壺を筆筒に隠したと後年述懐しておりました。

当時は、広島原爆ドーム（当時は産業奨励

館）の川向かいに住んでおりました。或る日（昭和19年頃）、持ち重りのするバケツを預かりました。お宅の前の家を持ってきたが留守なので適時に届けてくれと言います。被せてあった布巾を取ると、色とりどりの飴玉が溢れるほど入っていました。

「甘くて、うまそう！」

いまでもその光景を忘れません。

正直に届けば、ご褒美に飴玉の1個や2個はくれるだろうとの我が家の思いは通じず、当時は甘いものに飢えておりましたから食べておれば、我が人生で一番旨かったに違いないと思うのでご披露しました。

飴玉を届けた家には、私と同じ年頃の女の子がいて、或る日、遊びに行ききな粉うどんをよばれました。旨いのにびっくりしました。砂糖がたっぷりかかっていたのです。後年、試しに食べてみましたが旨くありません。

その頃、鮎の甘露煮を食べ、旨いのに驚きました。これも母親が、砂糖をふんだんに使って料理したものです。

だから、当時いかに甘いものが欠乏していたかの証拠です。最近のことですが、鮎の甘露煮（宮崎県産、真空パックがしてある）を食べましたが、ちっとも感激しません。

当時は、きな粉うどんや鮎の甘露煮の旨さに感激したのに、近年は甘いものが溢れており、有難味がなくなり不感症になってしまいました。

戦中戦後、何と言っても欠乏していたのは、お米（あるところにはあった）です。だから、麦は勿論、芋やカボチャを入れて嵩増して食べておりました。

母親の実家（広島県の山陽自動車道の河内イン

ター附近)に帰ると、真っ白いご飯で、「あっ、銀めしだ!!」と、喜んだものです。

現在のようにササニシキとかコシヒカリとか、格別の米ではなくごく一般の米に過ぎませんが、減多と食べられませんでしたが、減多と食べられませんでした。

父親の故郷(広島県大崎上島・山田洋次監督の「東京家族」のロケ地・平 25)では、小魚を焼いて身をほぐし焼き味噌を加えて、すり鉢ですり出し汁を加えた一品は、さつま汁と称して後年再現して食べましたが、これは旨い。今でも旨いはずですが、料理法が力仕事なので、男が協力しないとできません。ぜひ食べてみて下さい。

この島では、板海苔は採れませんが、青海苔は採れます。この乾燥した青海苔を焙烙で焼いて、ほぐして温かいご飯にかけて、醤油をかけ回していただくにご飯が進みます。

さらに、この青海苔を板状にしたものを巻きずしにします。中身は、古漬けの沢庵を小さく刻んだものと鰹節を混ぜ醤油をかけて、これを板状の青海苔で巻きずしにします。青海苔は柔らかくて切ると崩れるので、一本そのままをかぶりつきます。恵方巻を食べる要領です。

この青海苔は、徳山でも乾燥したものはありますが(最近見かけなくなった)、板状にしたものはありません。だから、従来の普通の巻きずし用の海苔で代用しております。今食べても旨い一品です。



高校時代は、いくら食べてもすぐに腹が減る年頃です。そして何を食べても旨いと思えました。持参の弁当は、午前中の授業が終わって食べるのが規則ですが、3時限がすむともう半数以上の生徒が、弁当をつかいました。

記憶に残っているのは弁当箱の底に薄くご飯を敷いて、その上に鰹の削り節を乗せて醤油をかける。さらにその上にご飯を乗せて、炒り卵を敷く。つまりご飯の2段重ねです。当時、卵は貴重品ですから、弁当の蓋を開けたとたんに黄色い炒り卵が、目に飛び込んでそれだけでも涎が出たものです。

その頃、母親は父親、男兄弟3人と下宿人一人

の計5つの弁当を作っておりました。明治生まれの母親は、もくもくと家事に専念しておりました。さぞかし大変だったことでしょう。感謝!

正午に授業がすんだら、学生食堂(といってもメニューはうどんだけ)に走ります。なにしろ1組60人で1学年が6組です。それが中学から高校まで6学年ですから、ほぼ2,000人を超える生徒数です。

それが腹をすかして、学生食堂へ駆け込みますから長蛇の列です。

うどんは、1杯15円だったと思います(昭和27-28年ごろ)。具はネギだけです。旨かったですね。まさに「腹が空いた時には、ソースはいらない」でした。

行列が長くて、食い終わって教室に駆け戻ると、すでに午後の授業が始まっており先生に、うどんのために遅刻したと報告したら、

「口を開けて、ハーしてみろ!」

少し間をおいて、「よし、確かに食っとる!」

ネギの匂いでわかるんですね。その頃は、食堂の売り上げに、全ての先生が協力的でしたので、叱られないですみました。懐かしい思い出です。

もう、そういう健康的な空腹状態には、現在はなろうとしてもなれませんから、あの時食べたうどんの味は、二度と味わうことはできません。

麺類が出たついでにラーメンのお話です。当時は、ラーメンとは言わずに、中華そばと言っておりました。

昭和25-30年のことです。広島宇品(戦時中、多くの兵隊が出征した港がある町)に近い町に住んでいました。幸運なことに、徒歩3分もかからない処に広島で一番旨い中華そば屋がありました。

広島カープの選手も食べに行くというほどの繁盛ぶりです。一杯50円です。

まあ、月に一回行けばあとは我慢しようというほどの値段です。

旨さの秘訣は、今で言うとんこつスープだったのです。あの頃は、肉は減多と食べられないので、動物性タンパク質の摂取が極度に少なく(だから子供は、みんな青っ鼻だった)余計に旨く感じた

なのでしょう。

後年、3歳年上の兄が言うには、食べたい欲望に勝てず、毎日食へに行き晩ご飯が食べられないので親にばれるのではないかと心配するほどであつと告白しておりました。ちつとも知らなかったな・。

昭和37年、卒後研修（インターン）をその近くの広島県立病院でしました。或る日、こっそりと昼食時間に出かけて食べてみましたが、そんなに感激はしません。もう、動物性タンパク質は十分に満たされていたのです。

作家の吉村昭さんのエッセイに、子供の頃に食べて旨かったからというので大人になって食べてみて、意外にも旨いと感じないことがあり、がっかりすることがある。だから、昔旨いと感じたものは、食べないで記憶の中に留めておくのがよい。私も懐かしの中華そばの経験から、その意見に賛成です。

高校3年生の大学受験の最後の追い込み期間中（昭和30年の暮れから31年の春）は、午後10時に夜食に鍋焼きうどんを食べるのが楽しみでした。

この旨かった鍋焼きうどんは、味気ない受験勉強を支えてくれた“戦友”です。



義理の叔母さん（姫路市郊外の網干）が、料理上手で洋食を得意にしておりました。茹でた卵を牛肉のミンチで包み、後はコロケと同じ要領で卵の溶き汁をつけてパン粉で覆う。これを油で揚

げる。肉が減多と食べられない時代でしたから、ドキドキしながら食べたものです。

最近、大型店舗の広告で、これはスコッチエッグと言う名称だと知りました。

デザートには焼きりんごが出ました。りんごの芯を抜き（底は残す）、そこに砂糖とバターを入れる。これをオーブンで焼く。簡単ですが、りんごの酸っぱさと砂糖の甘さとバターのこくが相まって食べたことのない旨さでした。

その頃は、オーブンがない、バターをふんだんに使う習慣がないなどで、まず一般の家庭では、手の届かない一品でした。

昭和31年の春、和歌山県立医科大学を受験しました。

宿屋で知り合いになった受験生が、受験慣れした学生で試験がすんだら、昼ごはんを一緒に食べようと誘われました。前日、その店で昼ごはんを食べたら旨かったので案内すると言います。

洋食屋とも言えぬような店でしたが、メニューは一品だけで、小判形をした今で言うハンバーグでした。

受験が出来ず、情けなくみじめな思いでハンバーグを食べましたが、彼が褒めただけあって旨かった。しかし受験が出来ずなのに、ハンバーグが旨いと思う自分が、情けなく悲しかった。

だから初めて食べたハンバーグは、私には“うま悲しい味”として記憶に残っています。

令和3年5月23日 日曜日



## 俳句ギャラリー

徳医句会（徳山医師会）

庭石に日差しの青き苔の花  
気まぐれに庭石洗ふ驟雨かな  
果物のジュースたつぷり夕端居

村田周陽

銃のなき銃架皐月の武家屋敷  
振り子時計ゆつくり動き梅雨鴉  
不如帰屋敷は襖開け放ち

藤村友雪

機関音たて水無月の貨物船  
椰子の葉の青さ明治の常夜灯  
軍港の名残りが島に盆近し

浅海日出子



## 男女差・男女格差？

柳井 織田 哲至

森喜朗元首相が「女性がたくさん入っている理事会は、時間がかかります。」と女性蔑視発言したのをきっかけに、女性差別、男女格差を考える2021年になりました。身体的に男女差があるように脳の働きにも差があることを知れば、格差は減ると思います。私も外来診療で、「以前、先生のお父様に診ていただいたことがあるんです。」ちょっと待ってくれ。私の父は医者ではありません。それは私ですと心の中で、にやつきました。また、「岩国に同じ名前のクリニックがあるのですが、どういう関係ですか？」私の息子です。「えー、信じられない。御兄弟かと思いました。」このようなうれしい発言をされるのは、すべて女性で、診察時間が当然長～くなります。マスクさん、ありがとう。

言語中枢は右利きで95%、左利きでも70%、左脳にあります。女性は左右の脳を使ってしゃべっています。左右の脳をつなぐ脳梁は女性の方が太く、エストロゲンも左右の脳の接続を良くしてくれます。実際、テレビを見ている時、女房が話しかけてくると、ちょっと待ってくれ、テレビの内容が聞き取れない。また、電話で話している時そばで話されたり、テレビの音があると私は電話に集中できません。ところが女房は大丈夫なようです。女性は、誰かと会話していても他の人の話に耳を傾けることができ、話すことと聞くことが同時にできるのでしょう。圧倒的に言葉数が多く、会話が活発になるのは当然です。口では男性は女性に勝てません。

話を聞いている時でも六種類の表情（驚き、恐れ、怒り、嫌悪、悲しみ、喜び）を使い分けます。これも左右の脳を使っているからです。外国語の

習得も早いと言われています。同時通訳も女性に多いです。さらに、脳卒中で言語中枢に障害を受けても、女性は、男性に比べ回復が良いことも経験します。

一方、男性は、しゃべる時に左脳のみを使用し、話を聞く事に集中しているため、無表情のことが多く、ストレスがあると黙ってしまいます。ロダンの「考える人」の彫像を想像してください。この像は、排便に良い姿です。排便時間は男性6分13秒、女性5分8秒と男性がやや長いです。さらに、イギリス人のデータによると、トイレにこもっている時間は、男性13分34秒、女性7分51秒で、男性の85%は読書をしています。トイレは一人きりになれる聖域です。私も映画の英語の本を読みながら軽く10分超えです。エーベン強をしています。

女性は脳の感受性が鋭く、女性ホルモンのために片頭痛が男性に比べ4倍多いです。昨年、私の外来で診た片頭痛患者は820人で、8割以上の666人が女性でした。特に、働き盛りの20～50歳の女性を中心です。仕事を含め日常生活にかなりの支障を来します。しかし、頭痛経験のない人、特に男性には、このつらさは理解してもらえません。

痛くて寝込む程の頭痛なのに、70%の人が仕事を休みません。痛い時は頭の回転が悪く、物事をうまく考えられません。音はうるさく、光はまぶしく、いつも以上に強く感じる脳過敏状態で、暗くて静かな部屋で横になりたいのです。病院を受診しないで市販薬で我慢している人もたくさんいます。早目早目に何度も服薬すると薬物乱用頭痛に移行します。当然、仕事の格差につながります。

2000 年から 2008 年にかけて片頭痛の治療薬として、非常に良く効くトリプタン製剤が 5 種類、日本で発売されました。以後、生活の質が向上した女性が増えています。トリプタンは、従来の鎮痛剤とは異なり、血管を収縮させるセロトニン作動薬です（セロトニンの減少により血管が拡張し頭痛が起きます）。服薬のタイミングが遅すぎたり、頭痛が非常にひどい時は、内服しても効きません。トリプタンの注射薬が必要で、昨年、24 人に使用し、自己注射を 7 人に処方しました。

女性管理職が、1995 年 4.2% だったのが、2016 年 13.4% と増加したのも、片頭痛治療の進歩が貢献しているかもしれません。頭痛回数を減らすため、様々な予防薬を処方しますが、それでも月に 10 回前後と頭痛回数の多い方がいます。今年 4 月から新しい片頭痛の予防薬として抗 CGRP 抗体の注射薬が使えます。三叉神経終末から CGRP（神経ペプチド）が放出されると血管の拡張と炎症が惹起し、頭痛が誘発されます。男女格差に貢献できる、効果ある注射薬です。しかし、薬価が非常に高く、多くの女性は望まないかもしれません。使用したのは、まだ 2 人です。

片頭痛以外にも女性に多い疾患が、良性発作性頭位めまい症です。はがれ落ちた耳石が三半規管の中で動き、めまいをおこします。後半規管と外側半規管に多いですが、混合型もあります。初日は、嘔吐を伴い、安静を強いられます。2 週間位で徐々に軽快しますが、中には 1 か月以上続いたり、繰り返す人もいます。緊張型頭痛は、発症当初から認めますが、めまいの軽減に伴い目立ってきます。

耳石置換法（Epley 法と Lempert 法）で加療すると、めまい、頭痛はすっきりと改善するので、原則投薬はしません。稀に、治りにくいクプラ結石と short arm 型があり、タッピング法の併用とか、Brandt-Daroff 法を追加します。

昨年、196 人中、144 人は女性で 7 割超えです。閉経後から多くなると言われていますが、中高生を含め若い人にもおこります。脳は関与していないようですが、何故、女性の耳石がはがれやすいのかは、よく分かっていません。この疾患も命にかかわる病気ではなく、片頭痛と異なり症状が長

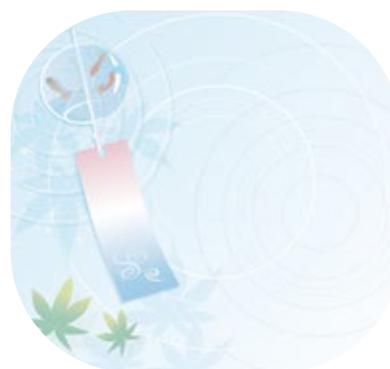
期にわたらないので、原因解明の研究が進んでいません。

脳の働きに差があるように、日常よく診る疾患にも男女差があることが分かり、差が無くなるよう日々診療に励んでいます。ただ、生物学的に脳の分化を含め、ヒトの分化の基本は、女性であることを頭に入れて置くべきです。

男性の Y 染色体は、女性の X 染色体の 3 分の 1 とちっぽけなもので、その中の SRY 遺伝子が活動し、男性を決定する働きのみです。X 染色体は、生存に必要な遺伝子をたくさん持っているため、これが無いと生きていけませんが、Y 染色体は、無くても生きていけます。男性は、女性にとって寄生虫とさして変わらないと断言している人もいます。

また、子孫を残す目的だけから見ると、寄生虫の男性は射精した時点で役割は終わり、不要です。妊娠、出産、授乳に始まる育児は、長期で命がけのため、女性は出血に、寒さに、痛みに強い体に成長します。男性より女性の方が非常に重要な位置付けであることを再認識させられます。

「男女」を見て、男と言う字を先に書いて良いのでしょうか。レディーファーストで、女を先に書くべきと思います。聖書もアダムの肋骨からイブができると言っていますが、やはりこれも逆でしょう。男女差は、女男差（ジョダンサ）、男女格差は、女男格差（ジョダンカクサ）とするべきです。うーん、冗談さ、冗談書くさ、に似てきます。やはり、まずいか。オヤジギャクで、男さらに落ちます。



## 写真のデジタル化

山口市 緒方 正彦

私の父は写真が趣味で、初任給をはたいてカメラを購入しました。確かコニカでレンズはヘキサードだったかな？シャッターは現在主流のフォーカルプレン（シャッター音が「シャキーン」）ではなく、レンズシャッターで「チッ」という音で迫力はありませんでした。レンズ設計に無理がないので、解像はとてもよくて味のある写真が出来上がっていました。そして子供たちの成長や家族の記録をたくさん残してくれました。父も耳鼻科医でしたので実家にはレントゲン室がありました。当時は自動現像機が無く皿現像でしたので、赤色灯や洗浄用の水槽も備えてありました。35mm フィルム用の現像タンク、引き伸ばし機がおいてありました。診療が終わって夕食を済ませたら「おがたラボ」の開店です、引き伸ばし機で印画紙に露光したのちに、現像液の入った皿につけて「チャプチャプ」していると像が浮かび上がります。ワクワクドキドキ。色が頃合いになったら定着液にドボン。水洗したのちに印画紙乾燥機で乾燥します。最初は露光しすぎたり、薄かったりでした。でも、コツを掴んだらもう立派な職人です。父は何でも子供にやらせてくれる人でした。

時は流れて、私達兄弟は自立して夫々家を持ったので、宇部の実家を解くことになりました。片付けをしていたら膨大な数のアルバム（100冊程）やネガがでてきました。破棄するのは忍びないので、デジタル化しようということになりました。アルバム以外にも色んな媒体があります。ネガフィルム、リバーサルフィルム。ネガには35mm、APS、110。

さてと・・・どこから手を付けたのか。

### アルバム

アルバムは色々な形式があります。昔ながらの台紙に糊で貼り付けたもの、フエルアルバム、5冊BOX ポケットアルバム（キャラクターの絵が描いてあるやつですね）等々。早速スキャナで取り込み始めました。A4サイズまでは市販のスキャナで取り込めますが、問題はフエルアルバムです。A3用のスキャナでないと丸々1面は取り込めません。A3 スキャナは高価です。仕方ないので最初は写真を1枚ずつスキャンしていました。父はマメな人で台紙に1枚ずつコメントが書いてありました。これは一緒に残しておきたいな～。何か良い手はないものか・・・。クリニックにあるコピー機のマニュアルを見るとスキャナ機能がありました。しめしめ。診療の合間を見ての作業ですので約半年かかりました。次いで、台紙に貼り付けていない写真に取り掛かりました。手焼きの白黒写真がブリキ缶に無造作に詰め込んでありました。しかも大量（3,000枚ほど）。本当、くじけそうです。母方の祖父母の所業です。2人とも大雑把な人でしたから。祖父母の若いころの写真もありました。当時はまだ家庭にカメラが普及していなかったのでしょうか、写場で撮った様です。昭和の初期の写真ですが、カブリがなく褪色もありません。さすがにプロの仕事です。

取り込みが終わった後は電子アルバムの作成です。無料ソフトが欲しかったので、ネットで探しましたが、なかなか良いものはありません。仕方がないので市販のソフトを探すと「蔵衛門」が良さそうです。工事現場用ですから最初は取っつきにくいのですが、アルバムそのままの感覚でページをめくりながら閲覧できるのが良いところで

す。コメントも入力できます。バラの写真の裏には説明文や日付が書いてありますので、全てコメント欄に入力しました。これが結構大変でした。

褪色の程度はコダックが一番少なかったです。富士フィルムは緑がっていますが、まだレタッチで補正可能な範囲でした。コニカ（旧小西六）は赤の情報しか残っておらずほぼ補正不能でした。やはり歴史のある会社はノウハウの蓄積が違うのでしょう。

作業を終えると、容量がほぼ 1 TB あったので、ポータブルハードディスクにコピーして兄弟に配りました。

### フィルム

手持ちのフィルムは 35mm（ネガ、リバーサル）、APS それと 110 です。

※ 110（ワンテン）カートリッジ式フィルムで、昔のスパイカメラ Minox のコピーです。

以前、村本剛三先生から Nikon のフィルムスキャナを戴きました。付属のソフトの色の再現性が悪いというか不正確というか、ど天然色（意味わかります?）。補正しきれない代物でしたので、物置で眠っていました。村本先生、ゴメンナサイ m(\_\*)m

スキャンを外注で頼む手もありますが、費用がかさみます。（36 枚 1 本で 3,500 円程：1200dp、JPEG のみ）またこういった会社は孫請けに頼んで（東南アジア方面）仕事が雑だそうです。また 110 フィルムはどこも扱っていません。やっぱり自分で取り込むしかないですね、これは。観念してフィルムスキャナを引っ張り出して PC に繋いでみると、動作しません??? マニュアルを見ると Windows Me までしか動作しないと判明。何か手立てはないかとググっていると、Windows10 用のドライバが見つかりました。

<https://www.driverscape.com/download/nikon-coolscan-v-ed>

いつの時代もいるんですね～、暇な人が。

これで 1 つ問題は解決。次はスキャンソフトで

す。サードパーティーでいくつか見つかりました。代表的なソフトは

Vuescan <https://www.hamrick.com/> と

silverfast <https://www.silverfast.com/jp/> です。

両者の違いをザックリいうと Vuescan はマニュアルで調整したい人向け、silverfast は基本的にオートです。色の表現は、Vuescan は原本に忠実で silverfast は少し鮮やかだそうです。価格は Vuescan が 8,000 円程で silverfast が 6,500 円程です。注意点は Vuescan は機種変更しても継続使用できますが、silverfast は機種が変わればその都度購入が必要です。PC でいうと DSP 版というところでしょうか。コテコテといじくるのが好きな私は Vuescan を選びました。

さてと、では取り込み開始です。Vuescan の設定の大まかな流れですけれども、

1. 取り込みメディア（フィルム・印画紙）
2. 白黒・カラー
3. フィルムタイプ  
例) KODAK、KODACOLOR、100Print Gen4
4. 取り込み形式 JPEG、TIFF、RAW
5. 解像度

設定項目が多くて閉口しますが、条件を一度登録しておくとは楽です。

### フィルムタイプ

Vuescan はフィルムタイプを選択できるようになっています。フィルムのスプロケットホール（穴）のそばに表示されています（例えば Kodacolor II など）。しかし、古いフィルムには表示が数字だけのものがあります。Vuescan のマニュアルにこの番号とフィルムタイプの比較表が載っています（日本語版には掲載されていません）。

### 比較表

<https://www.hamrick.com/vuescan/html/vuesc25.htm>

褪色がひどいフィルムの場合、このデータは役に立ちませんでした。その際はフィルムベースの

色を予めスキャナに記憶させて補正する機能もあります。でも、この機能を使ってみましたが、どうもうまく色が出ません。多分フィルムベース自体の劣化が進んでいるためだと思います。結局フィルムタイプを選んだ後に、カラーバランス(風景、ポートレート、タンダステン等です)を試行錯誤してみても、最後はトーンカーブで調整しました。

#### 取り込み形式

取り込み形式は3種類ありますが、それぞれの違いは

JPEG：最も出回っている形式。まずどんなPC環境でも閲覧できる。階調が浅い(トーンカーブで調整すると飽和しやすい)。

TIFF：印刷業界で使われている。CMYKに分解して印刷時の色あわせにつかう。

RAW：三原色に分解して個別に色あわせができるため、調整の幅が広い。しかしソフトが限られていて有料が多い。一口にRAWと言ってもいろいろな会社が独自にRAW形式を出していて、その会社の出しているソフトでないと現像できない場合がある。ほぼすべてをカバーしているのはPhotoshopだけ。

今はJPEGソフトも改良が進んでいて、補正の際にあまり困ることはないそうです。印刷はせずモニタ上で閲覧する場合にはJPEGで十分と思います。私は念のため3種類全て取り込みました。ただし、容量は大きくなりましたが。

#### 解像度

出力サイズにより解像度の目安があります。35mmフィルムを出力する場合、

L判	1200dpi
六切・A4	2400dpi
A3	3200dpi
A3ノビ・A2	4800dpi
A1	6400dpi

あまり解像度を上げててもメリットはありません。編集の際にPCのスペックが追いつかないことがあります。ただ、APSや110は上記より

ワンランク上げた方が良さそうです。

では、スキャンの開始です。

#### 35 mm

Nikonのスキャナには豊富なアダプタが同封されています。バッチスキャン用(連続取り込み)、1枚ずつスキャンするもの(カールが強いフィルム用)、それとスライドフィルム用。

ネガをスキャンすると青カブリになっていました。補正をしてみるとJPEGでは階調が浅いためか、赤色の壁はそれぞれペンキのベタ塗りのように単調になります。RAWで1枚ずつ現像しないとイケません。

リバーサルフィルム(Ektachrome)は殆ど褪色がありませんでした。高校の頃、北浦の海を撮影したのですが、当時の色がそのままです。

#### APS

NikonのスキャナはオプションにAPSアダプタがあります。現在は販売を終了していますので、中古品を探すしかありません。最近は全く見かけません。諦めかけていたところ、Amazonに出ていました。

4000dpiでスキャンしました。画像を確認すると、一見荒いように見えますが、スキャナの問題ではなくフィルムの問題でした。ASA1600だとフィルムの粒子が見えます。

APSの取り込みが終わり一段落。と思いきやトラブル発生。スキャン後画面が全面紫色になりました。スキャナとPCの接続がおかしいのかな？USBを差し替えても改善しません。ググってみると、どうもイメージセンサがやられたようです。

#### 2台目購入

coolscanの中古を探してみましたが、プレミアがついて価格が上がっています。まだスキャナを製造している会社があるのかな？調べるとPlustekがまだ製造していました。確か西ドイツ

の会社で高価だったと記憶していますが、今は台湾で作っているようです。ソフトは silverfast が付いています。早速購入。

### 110 フィルム

最後の難関は 110 フィルムです。フィルムがカマボコ状に弯曲しているためセンターのピントが合わないことと、端のコマもカールしていて取り込めません。Plustek のフィルムフォルダは造作が荒いため隙間があります。この隙間にアクリル板でフィルムを挟んで入れればうまく固定できるかもしれません。早速ホームセンターに行き一番薄いアクリル板を買ってきて工作しました。何とぴったり合いました (^\_^)v

110 をスキャンしてみると、とにかく褪色が著しくて、まるで心霊写真の様です。まっ、古さが出ていて、それはそれでよいのかも知れません。めでたく全てスキャンできました。

次いでレタッチです。トリミングや傾き、褪色の補正をしなければなりません。おすすめのソフトは何とんでも Adobe Photoshop です。廉価版の Photoshop Elements がありますが、トーンカーブがない、8bit しか扱えない（色の細かさが少ない）、CYMK が使えない（印刷目的）、RAW 形式で保存できないなどの制約があります。Photoshop とほぼ同じ機能を持った無料ソフトに Rawtherapy があります。Photoshop にはかありませんが、Rawtherapy はレタッチに必要な機能はほぼ持っています。ただ、動作が重いのが難点です。

### 雑感

この度、新しいフィルムスキャナを探してみたら、もうほとんど生産していませんでした。生き延びたのは Plustek のみです。いずれ民生品は先細りとなるのでしょうか。寂しい限りです。

